6　各部の名称とはたらき

漏電ブレーカー（過熱防止回路付）
シール加熱時に設定時間以上電流が流れると、自動的に OFF 状態になります。
また、漏電時の場合でも自動的に切れます。

切

漏電ブレーカーは右イラストでは見えません。
「10 仕様 >> 外形寸法図」をご参照ください。

レギュレータ
7　準備>>「7-6　エア源のセットアップ」をご覧ください。

コントロールユニット

本体カバー
メンテナンス時などに上へ持ち上げて開きます。

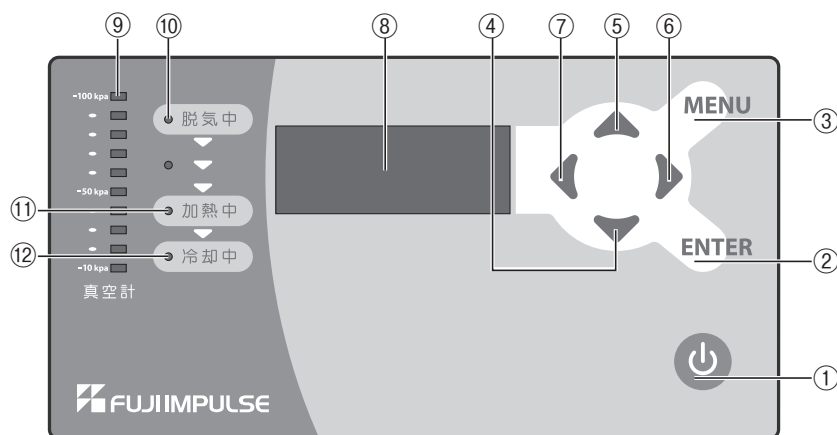
ダクトフランジ
排気用ホースを繋げます。

エアフィルター
ノズルより吸い込んだ水分、微粉、異物などはこのフィルター内に排出されます。

脱気ノズル
袋内のエアを吸引します。脱気工程時に前に出てきます。

テーブル
テーブルの高さと角度が調整できます。「7-4 テーブル高さと角度の調整」をご参照ください。

フットスイッチ
フットスイッチを踏むことで作業を進めます。

コントロールユニットの名称

① 電源ボタン
電源を入 / 切にする時に押します。（漏電ブレーカーが「入」状態の時）

② ENT ボタン
各項目、設定を確定する時に押します。

③ MENU ボタン
メニューモード画面を呼び出す時に押します。

④⑤⑥⑦ 選択ボタン
各設定画面で項目への移動や数値増減などの時に押します。数値設定の場合▲、▼ボタンを押し続けると、数値が高速で増減します。

⑧ ディスプレイ画面
各項目・設定内容がこの画面に表示され、この画面の表示にて設定作業を進めます。

⑨ 真空計
真空度がレベルメーターで表示されます。

⑩ 脱気中ランプ
脱気工程中、点灯します。

⑪ 加熱中ランプ
加熱工程中、点灯します。

⑫ 冷却中ランプ
冷却工程中、点灯します。

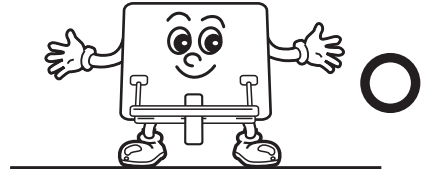
7　準 備

7-1　作業場所の確保

安全に効率的に作業するため、適切な作業環境でご使用ください。

⚠ 警告　傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。
製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な面を持つ場所に作業場所を確保してください。

⚠ 警告　設置面が濡れていたり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。

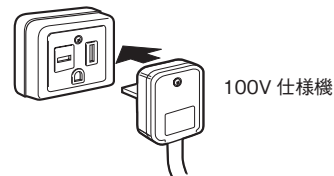
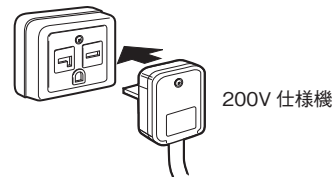
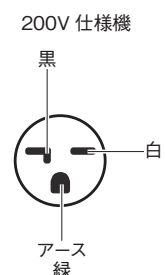
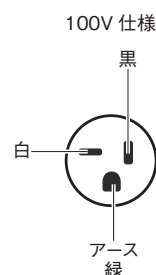
⚠ 警告　湿度の高い場所での使用は、内蔵コンプレッサーからの吸気に水分が多く含まれ、エア機器に悪影響を及ぼします。また、ドライフィルターの寿命が大幅に短くなります。

7-2　電源の接続

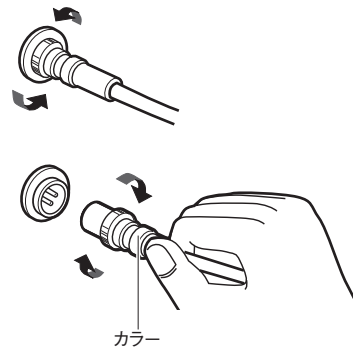
電源は必ず「10　仕様」に記載している電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続してください。
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第3種接地工事の資格者により行ってください」

100V 仕様機

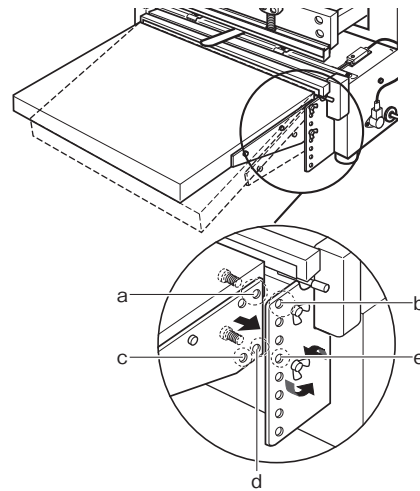
200V 仕様機

⚠ 警告　消費電力は製品によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

⚠ 警告　製品に組込まれている標準のプラグの取替え配線をする場合、接続に誤りのないことを確かめてください。配線の接続は右イラストのようになっています。またアース線が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）したり漏電します。

7-3　フットスイッチの取り付け

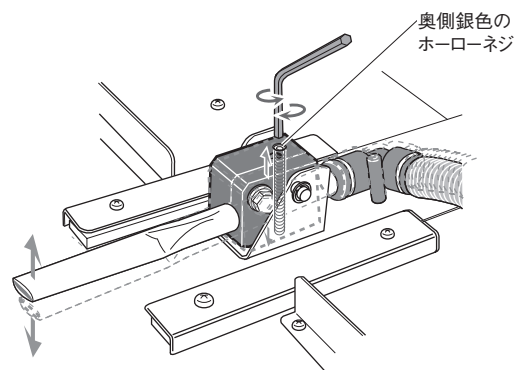
附属品のフットスイッチを本体ボックス側面にあるプラグに差し込み、カラーを回してねじ込み固定してください。

7-4　テーブル高さと角度の調整

テーブルの高さと角度は、製品前面両端にある穴付アングルの穴への取り付け位置を変えることにより調整します。

1　テーブル穴 a とアングル穴 b を合わせ、任意の高さに取り付けます。
2　テーブル穴 c または d いずれかを選択することでテーブル角度を変えることができ、アングル穴 e と合わせてボルトで固定します。
　c で固定する場合、テーブルに角度が付きます。
　d で固定する場合、テーブルが水平になります。
3　高さ、角度を設定した後、ボルトと蝶ナットでしっかりと固定してください。
　この作業は左右どちらか片側ずつ行うと楽に行えます。

7-5　ノズルの高さ調整

シール部に突出するノズルの高さはお客様の使いやすい位置（高さ）に微調整することが可能です。

調整方法

1　本体カバーを上に持ち上げてください。
2　テーブル側から見てノズルサポーターの左奥側のホーローネジを（右イラスト参照）附属の 2.5mm 六角レンチで回すとノズル高さが変わります。
　右に回す=低くなる
　左に回す=高くなる

7-6 エア源のセットアップ

V-402-CH 、V-602-CH シリーズは製品を駆動させるために別途エアコンプレッサーが必要となります。適合するコンプレッサーをご使用ください。

適合コンプレッサー

クリーンエア：0.75kW 、80L/min 、0.5MPa 以上

エア配管

エア配管は、チューブまたはエアホースを使用してください。

チューブまたは、エアホースをエアコック（エア接続口）の根元まで差し込みホースバンドでしっかりとめてください。

以下作業を始める際、フィルタレギュレータのエアコックを開くと、エア圧力で圧着レバーが開きます。充分注意して準備してください。

エアコック

エア源の接続を行ったのち、フィルタレギュレータのエアコックを開き、エア圧力の調整を行ってください。

作業終了時には、必ずエアコックを閉じるようにしてください。

フィルタレギュレータ

エア圧力の調整

フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、時計方向（右回転）に回すと、エア圧が上がります。

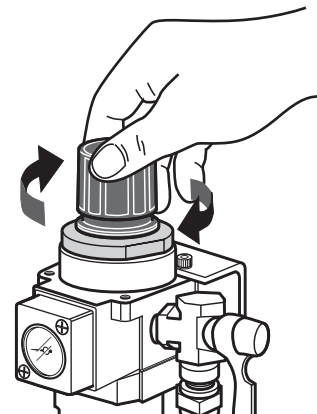
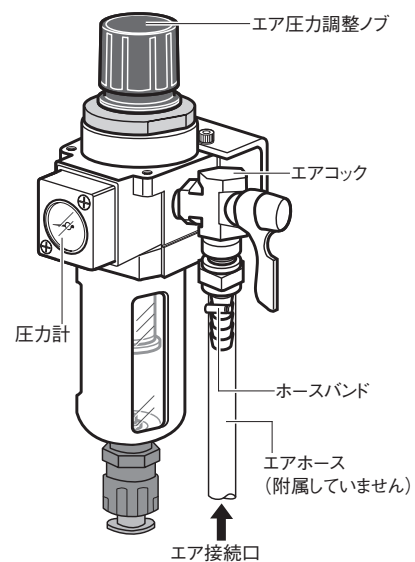
設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

圧力設定値：0.35MPa

■エア圧を下げたい場合

フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、反時計方向（左回転）に回します。このときノンリリーフ仕様なので配管中のエアーは抜けず、圧力計の値も下がりません。適当にノブを回したら、軽くフットスイッチを操作して、配管中に残っているエアを消費してください。圧力計の値が下がります。

今度はエア圧力調整ノブを時計方向（右回転）に回して、設定したい圧力まで調整してください。

設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

8 正しい使い方

「正しい使い方」：解説の構成

「正しい使い方」は以下の 8-1 から 8-5 までの構成にて作成しています。

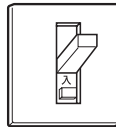
8-1 標準登録設定で使ってみましょう!

= 工場出荷時登録の設定で基本操作を解説
標準登録してある２つの作業方法（工場出荷時登録済み）の使い方の説明で基本操作を確認していただけます。ここで製品に慣れてください。

8-2 登録をしてみましょう!

= 登録例で登録方法を解説
２種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。実際に行っていただくと登録方法をすばやく習得していただけます。

MEMO 8-1 と 8-2 は、下記の１と２の操作を行った状態から解説しています。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にしてください

2 電源スイッチを ON 状態にしてください

ディスプレイ画面に下画面が３秒間表示します。

```
V-402  Verx.x

FUJI IMPULSE.CO
```

8-3 用語リファレンス

= 用語解説（五十音別）
V-402-CH 、V-602-CH シリーズのディスプレイ画面やこの取扱説明書に出てくる言葉・表現を解説していますので辞書的にお使いください。
マニュアル操作って何?　インパルスって何?　などを確認できます。

8-4 各操作・各設定リファレンス

= 各作業方法における操作・設定の解説

8-5 各作業手順

= ４種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを手順で解説
コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していただくことができると思います。
8-3 と 8-4 は辞書（データファイル）的にご利用ください。

8-1　標準登録設定で使ってみましょう!＝基本操作

V-402-CH 、V-602-CH シリーズは工場出荷時にあらかじめ 2 種類の作業方法を登録しています。

注！　工場出荷時設定の 2 種類の登録は、お客様が加熱温度や冷却温度、脱気時間などを変更することによって設定を変更することができます。
工場出荷時設定（標準登録）を変更した後で再現したい場合は再度登録し直す必要があります。
「標準設定で使ってみましょう」の習得途中で各設定値を変更したい場合は、各項目を「8-4 各操作・各設定リファレンス」に記載している方法で設定してください。

・まず、基本操作をこの 2 種類の標準登録設定の作業方法でご確認ください。
・わからない用語は・・・・・「8-3 用語解説」をご覧ください。
・他にどんな作業方法があるの?は・・・・・「8-5 各作業手順」をご覧ください。

8-1-1　シールだけを行う

=作業 No「01」　シールセンヨウ
工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃
=「8-5 各作業手順」の「8-5-1 シール専用」

8-1-2　目安で真空度を見て脱気シールを行う

=作業 No「02」　ダッキシールマニュアル
工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃
=「8-5 各作業手順」の「8-5-2 マニュアル（目安）脱気＋シール」

各作業 No. の変更は下イラスト=ディスプレイ画面の初期画面が表示されている状態で▲、▼を押すと（切り替え）変更できます。

```
[01]  シールセンヨウ
 ▼ ▲  サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER        xxxxx    TEMP
```

8-1-1　シールだけを行う

選択作業 No. は　No「01」　シール専用

工場出荷時の設定値：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

= 「8-5　各作業手順」の「8-5-1　シール専用」

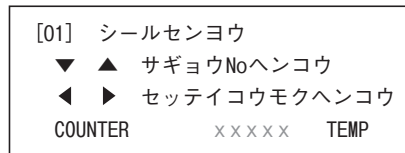
MEMO　以下の設定は、製品開梱後、何も設定変更を加えていない状態での解説です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

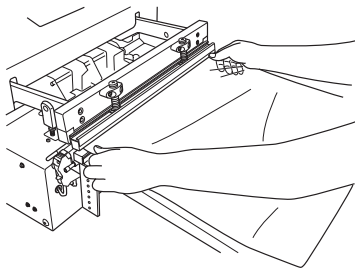
3 ディスプレイ画面が作業 No 「01」に変わる

作業 No「01」のシール専用の画面が表示されます。

```
[01]  シールセンヨウ
 ▼ ▲  サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER       xxxxx    TEMP
```

4 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」をご覧ください。

5 シール面に袋をセット

シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。

6 フットスイッチ（1 回目）を踏む

圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください。

注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

7 フットスイッチ（2 回目）を踏む

2 回目のフットスイッチを踏む操作をすると次の工程が自動的に行われます。

- 圧着レバーがシール面に密着　（シール開始）
- 加熱中ランプが点灯

- 加熱終了後（加熱中ランプ消灯）、冷却中ランプが点灯

- 冷却終了（冷却中ランプ消灯）

冷却中

- シール完了（圧着レバーが上がります）

8 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、「1　電源ボタンを OFF」、「2　漏電ブレーカーを OFF」、「3　電源コードの接続を解除」の順に行ってください。

8-1-2　目安で真空度を見て脱気シールを行う

選択作業 No. は　No「02」　脱気シールマニュアル

工場出荷時の設定値 : 加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

=「8-5　各作業手順」の「8-5-2　マニュアル（目安）脱気 + シール」

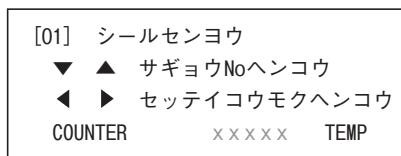
MEMO　以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での解説です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

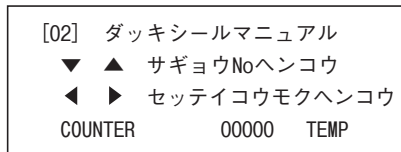
2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業 No 「01」に変わる

作業 No「01」のシール専用の画面が表示されます。

```
[01]　シールセンヨウ
 ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　　　xxxxx　TEMP
```

4 ディスプレイ画面の作業 No 「02」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業 No の画面に切り替わりますので、作業 No 「02」を選んでください。

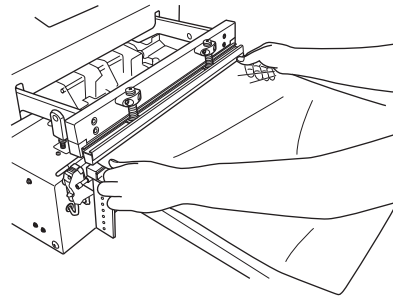
```
[02]　ダッキシールマニュアル
 ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　　　00000　TEMP
```

5 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」をご覧ください。

6 フットスイッチ（1 回目）を踏む

ノズルが前に出てきます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

8 フットスイッチ（2 回目）を踏む

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください）

MEMO　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 フットスイッチ（3 回目）を踏む

脱気がスタートします。（脱気中ランプ点灯）

10 適切な脱気状態になればフットスイッチ（4 回目）を踏む

4 回目のフットスイッチを踏む操作をすると次の工程が自動的に行われます。

- 脱気終了（脱気中ランプ消灯）
- ノズル後退

（目安で真空度を見て脱気シールを行う」のつづき）

- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。（加熱中ランプが点灯）

- 加熱終了後（加熱中ランプ消灯）、冷却中ランプが点灯。

- 冷却終了（冷却中ランプ消灯）

- シール完了（圧着レバーが上がり、ノズルが前進します）

11 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、「1　電源ボタンをOFF」、「2　漏電ブレーカーをOFF」、「3　電源コードの接続を解除」の順に行ってください。

8-2　登録してみましょう!

注！ 作業 No の登録は、最大 10 パターンまで登録することができます。
10 パターン以上を登録しようとするとディスプレイ画面に「トウロク　デキル　サギョウ No ガ　イッパイデス」と表示されます。登録済みの作業 No のいずれかを削除してからでないと登録することができません。

注！ 登録する場合、作業 No は自動的に登録されている作業 No の末尾の次に自動的に登録されます。
例）作業 No4 まで登録されていると次に登録する場合は、自動的に作業 No5 に登録されます。

「登録してみましょう」では、2 種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。

登録例以外の作業パターンの登録は登録方法をご理解の上、行ってください。

8-2-1　シール専用の登録方法

=作業 No「05」　シールセンヨウ

登録内容 : 加熱温度 =140℃、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100℃

8-2-2　タイマーによる脱気の登録方法

=作業 No「06」　ダッキタイマー

登録内容 : 加熱温度 =140℃、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100℃、脱気タイマー =12.0 秒

8-2-1 シール専用の登録方法

MEMO 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態からの説明です。

作業 No.「05」 にシール専用を登録
登録内容の数値 : 加熱温度 =140℃ 加熱時間 =0.3 秒 冷却温度 =100℃

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面に作業 No「01」が表示されます

```
[01] シールセンヨウ
 ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER    XXXXX   TEMP
```

4 MENU ボタンを押す

```
メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク     2 ヘンコウ
3 サクジョ     4 メンテナンス
```

5 ◀、▶ ボタンで「1 トウロク」を選ぶ

```
メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク     2 ヘンコウ
3 サクジョ     4 メンテナンス
```

（～部分は点滅しています）

6 ENTER ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05] シールホウシキ ◀▶ センタク

1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
```

7 ◀、▶ ボタンでシール方式「1 シールセンヨウ」を選ぶ

```
[05] シールホウシキ ◀▶ センタク

1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
```

（～部分は点滅しています）

8 ENTER ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ


HT 60℃ 0.0s CT 40℃
```

（～部分は点滅しています）

9 加熱温度を 140℃に設定する

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱温度の設定』をご覧ください。

10 ▶ ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱時間の設定』をご覧ください。

11 ▶ ボタンを押し、冷却温度を 100℃に設定する

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定』をご覧ください。

8-2-2 タイマーによる脱気の登録方法

MEMO 以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態からの説明です。

作業 No.「05」 に脱気タイマーを登録
登録内容の数値：加熱温度 =140℃ 加熱時間 =0.3 秒 冷却温度 =100℃、脱気タイマー =12.0 秒

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面に作業 No「01」が表示されます

```
[01] シールセンヨウ
 ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER      xxxxx   TEMP
```

4 MENU ボタンを押す

```
メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク      2 ヘンコウ
3 サクジョ      4 メンテナンス
```

5 ◀、▶ ボタンで「1 トウロク」を選ぶ

```
メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク      2 ヘンコウ
3 サクジョ      4 メンテナンス
```

（～部分は点滅しています）

6 MENU ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05] シールホウシキ ◀▶ センタク

1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
```

7 ◀、▶ ボタンでシール方式「2 ダッキシール」を選ぶ

```
[05] シールホウシキ ◀▶ センタク

1 シールセンヨウ 2 ダッキシール
```

（～部分は点滅しています）

8 MENU ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05] ダッキホウシキ◀▶センタク
ダッキシール

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

（～部分は点滅しています）

9 ◀、▶ ボタンで脱気方式「2 タイマー」を選ぶ

```
[05] ダッキホウシキ◀▶センタク
ダッキシール

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

（～部分は点滅しています）

10 MENU ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
VT10.0sec

HT 60℃ 0.0s CT 40℃
```

（～部分は点滅しています）

11 脱気タイマーを 12.0 秒に設定する
『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気タイマー（時間）の設定』をご覧ください。

12 ▶ ボタンを押し、加熱温度を 140℃に設定する
『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱温度の設定』をご覧ください。

13 ▶ ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する
『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱時間の設定』をご覧ください。

14 ▶ ボタンを押し、冷却温度を 100℃に設定する
『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定』をご覧ください。

8-3 用語解説

「用語解説では」、V-402-CH 、V-602-CH シリーズのディスプレイ画面やこの取扱説明書の中で出てくる「弊社製品特有の“表現”“単語”」などを解説します。
その他、富士インパルスシーラー基礎知識的な用語も収録しています。
五十音別に掲載していますので辞書的にご活用ください。

い	インパルスシーラー インパルス方式	シールする技術は、使用する目的や用途に応じて 4 つの方式に分かれます。プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘するマシンをシーラーと総称します。そのシールの接着手段に熱を利用しているものをヒートシーラーと言います。 一般的に使用されるヒートシール技術は 1.　インパルスシーラー、 2.　熱板シーラー 3.　超音波シーラー、 4.　高周波シーラー があります。 富士インパルスは、その中のインパルスシーラーを製造しています。 インパルスシーラーは、 熱接着刃型の表面に熱源として装備されたリボン状ヒーターに瞬間的に大電流を流して熱接着可能な状態にまで発熱させ、熱伝導により熱接着対象物を熱接着するもの。 接着しようとする封緘部を熱接着刃型の間に入れ、熱接着刃型で加圧し、リボン状ヒーターで瞬間的※に通電し、加熱し、熱伝導により封緘部を熱融着させる。通電完了後も加圧状態のまま冷却行程を必要とする。 （株式会社日報：包装タイムス掲載文章を参照しました。） ※瞬間的=インパルス（IMPULSE：衝撃、推進力、瞬間力、衝動 / 研究社新英和中辞典より）
お	温度センサー	シール部の温度を直接検出します。
し	真空計脱気	真空度の設定を行い、設定した真空度まで脱気を行います。
し	シール シールする	一般的に " シール " と耳にされたら「表面に絵や文字を印刷した糊付きの紙状のもの」を頭に浮べられる方が多いのではないかと思います。この " シール " の通称で呼んでいるものは「ラベル（label）」の方が正しい呼び方となるかもしれません。 私たちが造る機械の「" シール " する」は、これとは異なります。ちょっと難しいですが、プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘（ふうかん）する事を " シール " と言います。また、そのシールを行う機械をシーラー、シール機と総称します。

し	シール専用	シールだけを行います。この設定にすると脱気機能は稼働しません。
し	シール方式（ディスプレイ画面に現れる場合）	V-402-CH 、V-602-CH シリーズのディスプレイ画面に現れる「シール方式」の意味は、シールする以外にどんな付加作業をした上でシールする作業方法を選ぶか?を設定する際に、単に「シール方式の選択」と表現している。 シール方式の広義の意味は「インパルス式」「超音波式」「高周波式」などであるが、V-402-CH 、V-602-CH シリーズのディスプレイ画面の文字数制限による表現力不足とご理解・ご了承ください。
た	タイマー脱気	脱気する時間の設定を行い、設定時間まで脱気を行います。
ま	マニュアル脱気	適切な脱気度合いを目視で判断し、フットスイッチを踏む操作で脱気を終了させる脱気方法。

8-4　各操作・各設定リファレンス

各作業方法における共通の操作・設定の解説です。
リファレンス・辞書（データファイル）的に確認したい時にご使用ください。

8-4-1　操作方法編：

■ 五十音順

き

起動

1　漏電ブレーカーを ON 状態にする

2　電源ボタンを ON 状態にする

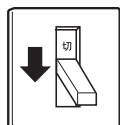
コンプレッサー、冷却ファン起動

し

終了（作動停止）

1　電源ボタンを OFF にする

コンプレッサー、冷却ファン停止

2　漏電ブレーカーを「切」にする
製品が停止

3　定期的保守項目のチェックする
吸気フィルターの清掃など
定期的保守項目は、「12 定期的な点検と保守」をご覧ください。

4　電源プラグを抜く
長期間使用しない場合は電源プラグを抜いてください。

ふ

フットスイッチ操作

V-402-CH 、V-602-CH シリーズは操作の進行をフットスイッチを踏むことで進めます。

注 ！　確実に踏み込まないと次の工程に移らないことがあります。
例えば、圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

8-4-2　設定方法編：

コントロールユニットの各ボタン解説

コントロールユニットでの各設定はそのほとんどを

MENU ボタン　ENTER ボタン　▲ボタン　▼ボタン　▶ボタン　◀ボタン

で行います。

MENU ボタン

＝各設定メニュー（モード）の「1 トウロク、2 ヘンコウ、3 サクジョ、4 メンテナンス」を呼び出す時に押します

ENT ボタン

＝各設定を確定する時に押します

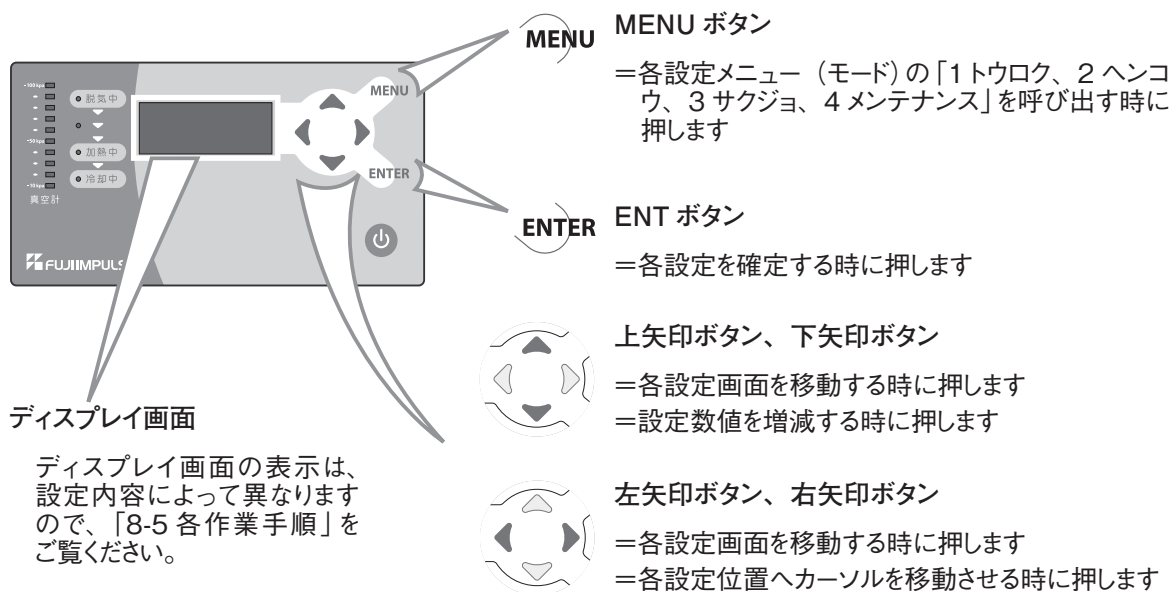
上矢印ボタン、下矢印ボタン

＝各設定画面を移動する時に押します
＝設定数値を増減する時に押します

ディスプレイ画面

ディスプレイ画面の表示は、設定内容によって異なりますので、「8-5 各作業手順」をご覧ください。

左矢印ボタン、右矢印ボタン

＝各設定画面を移動する時に押します
＝各設定位置へカーソルを移動させる時に押します

以下のリファレンスをご利用される前にお読みください

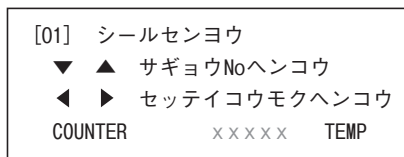
1 以下の設定は、全て漏電ブレーカーが ON 状態、電源ボタンが ON 状態に設定していることを前提として説明しています。
2 ディスプレイ画面イラストでは任意の設定で変化する数値部分を「xx」で表示しています。
3 カーソルを合わせた時に点滅している部分の下側に「〜」、背景に「■」を付けて表示しています。
4 ディスプレイ画面イラストでは選択している作業 No によって内容が異なりますので「●」で表示しています。

■ 五十音順

か

カウンター

リセットの方法は、下記の初期画面が表示されている状態で ENTER ボタンを 3 秒間押してください。

```
[01]  シールセンヨウ
 ▼ ▲  サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER        xxxxx    TEMP
```

カウンター値を 1 つ下げたい場合は、ENTER ボタンを押してください。

2 HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で加熱温度の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。

▲、▼ ボタンを一回押すと 1℃増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：60 〜 250℃）

MEMO 設定温度は、使用される包装フィルム（袋）の材質により適切な溶融温度は異なります。
シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えることができます。

か

加熱温度の設定

1 ■ 表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の解説へ進んでください。

```
[0x] ▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
●●●●●●●●●●

HT xx℃  x.xs  CT  xx℃
```

（〜部分は点滅しています）

■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> 『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択』をご覧いただき、設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

か

加熱時間の設定

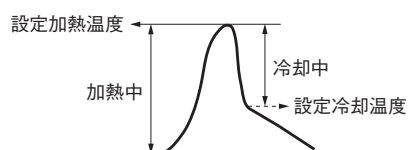
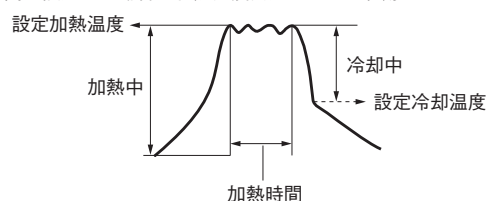
1 ■ 表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> ▶ ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の解説へ進んでください。

（〜部分は点滅しています）

■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：
>> 『作業 No. の選択』をご覧いただき設定を行いたい作業 No. を選択してください。選択ができたら ▶ ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で ▶ ボタンを押すと、「xx S」の加熱時間の位置へカーソルが移動します。
加熱時間の数値を上げる場合 ▲ ボタン、数値を下げる場合 ▼ ボタンを押してください。
▲ 、▼ ボタンを一回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.0 ～ 2.0 秒）

MEMO　温度制御における加熱時間とは設定された温度を維持させる時間のことです。通常は、加熱時間を設定しなくても（加熱時間を 0.0 秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定する効果が期待できます。

加熱時間を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡

加熱時間を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡

さ

作業 No. の削除

MEMO　作業 No. の削除中、4 の ENTER ボタンを押す前であれば、 MENU ボタンを押すと、削除を中止することができます。

1　作業 No. が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01]  シールセンヨウ
 ▼ ▲  サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER        xxxxx    TEMP
```

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

2　◀ 、▶ ボタンで「3　サクジョ」の位置にカーソルを合わせ、 ENTER ボタンを押して確定してください。次イラスト画面に変わります。

3　この画面で削除する作業 No. を ▲ 、▼ ボタンで選択します。

4　削除したい作業 No. が表示されたら、 ENTER ボタンを押すと削除されます。

注 ！　削除したデーターは元に戻すことができませんので、削除するときはよく確認をしてから行ってください。

MEMO　登録を削除すると、削除した作業 No. の次の作業 No. が自動的に一つ前のナンバーに書き変わります。

例）
削除前の登録内容

作業 No.01= シール専用
作業 No.02= 脱気シール タイマー
作業 No.03= 脱気シール マニュアル

「作業 No1 シール専用」を削除すると、

作業 No.01= 脱気シール タイマー
作業 No.02= 脱気シール マニュアル
作業 No.03= 未登録

に変わります。

MEMO 登録してある作業 No. が 01 のみの場合、作業 No.01 を削除しようとするとディスプレイ画面に「スベテサクジョ　デキマセン」と表示されます。

さ

作業 No. の選択

作業 No. が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

[01]　シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　xxxxx　TEMP

▼ボタンを押すと「一つ前の登録された作業 No の画面」に変わります。▲ボタンを押すと「一つ後の登録された作業 No. の画面」に切り替わります。

さ

作業 No. の変更

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択』をご覧ください。

し

シール方式の選択・登録・変更

1　作業 No. が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

[01]　シールセンヨウ
▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　xxxxx　TEMP

MENU ボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

メニュー ◀▶ センタク　MENUモドル
1　トウロク　　2　ヘンコウ
3　サクジョ　　4　メンテナンス

2　■ 登録の場合：
>> ◀、▶ボタンで「1　トウロク」の位置にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して確定してください。
次の操作は 3 へ続きます。

■（登録内容の）変更の場合：
>> ◀、▶ボタンで「2　ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTER ボタンを押して確定すると変更したい作業 No. を選択する画面が表示されますので▲、▼ボタンで変更したい作業 No. の画面へ移動し、ENTER ボタンを押して確定してください。

3　次イラストのメニュー画面に変わります。

[0x] シールホウシキ ◀▶　センタク
1　シールセンヨウ　2　ダッキシール

4　◀、▶ボタンで「1　シールセンヨウ」「2ダッキシール」から選択したいシール方式（作業方式）にカーソルを合わせENTERボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

MEMO　「1　シールセンヨウ」以外の登録をする場合は、『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気方式の選択』をご覧ください。

し

真空度の設定

脱気方式の選択をご覧いただき、「2　ダッキシール >> 3　シンクウケイ」を選択すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
VG－ xxkpa

HT xx℃ x.xs CT xx℃
```

（～部分は点滅しています）

真空度設定位置にカーソルが来ますので「VG」真空度（の数値）を上げる場合▲ボタン、真空度を下げる場合▼ボタンを押してください。（設定範囲：－10 ～－100kPa）

し

真空計脱気の選択

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気方式の選択』をご覧ください。

し

「真空計脱気＋シール」の選択・設定・登録

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 真空計脱気＋シール』をご覧ください。

た

タイマー脱気の選択

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気方式の選択』をご覧ください。

た

脱気タイマー（時間）の設定

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気方式の選択』をご覧いただき、「タイマー脱気」の作業を選択してください。
「2　タイマー」の位置にカーソルを合わせてENTERボタンを押して確定すると次の脱気タイマー設定画面に変わります。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶ イドウ
VTxx.xsec

HT xx℃ x.xs CT xx℃
```

（～部分は点滅しています）

「VT」脱気タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

た

脱気方式の選択

1　作業 No. が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
 ▼ ▲ サギョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER     xxxxx  TEMP
```

MENUボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

```
メニュー ◀▶ センタク MENUモドル
1 トウロク      2 ヘンコウ
3 サクジョ      4 メンテナンス
```

2　■ 登録の場合：
>> ◀、▶ボタンで「1　トウロク」の位置にカーソルを合わせます。
次の操作は 3 へ続きます。

■（登録内容の）変更の場合：

>> ◀、▶ボタンで「2　ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTERボタンを押して確定すると変更したい作業No.を選択する次の画面が表示されますので▲、▼ボタンで選択したい作業No.の画面へ移動し、ENTERボタンを押して確定してください。

3　ENTERボタンを押して確定すると次イラストのメニュー画面に変わります。

```
[0x] シールホウシキ　◀▶　センタク

1　シールセンヨウ　2　ダッキシール
```

4　◀、▶ボタンで「2　ダッキシール」にカーソルを合わせENTERボタンを押して確定すると次イラストのメニュー画面に変わります。

```
[0x] ダッキホウシキ◀▶センタク
ダッキシール

1マニュアル　2タイマー　3シンクウケイ
```

◀、▶ボタンで「1 マニュアル」「2 タイマー」「3 シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせENTERボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

た

「タイマー脱気＋シール」の選択・設定・登録

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> タイマー脱気＋シール』をご覧ください。

ま

マニュアル脱気の選択

『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気方式の選択』をご覧ください。

め

メンテナンスモードの選択

1　作業No.が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01]　シールセンヨウ
　▼　▲　サギョウNoヘンコウ
　◀　▶　セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　　　ｘｘｘｘｘ　TEMP
```

MENUボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

```
メニュー　◀▶　センタク　MENUモドル
1　トウロク　　　2　ヘンコウ
3　サクジョ　　　4　メンテナンス
```

2　◀、▶ボタンで「4　メンテナンス」の位置にカーソルを合わせます。ENTERボタンを押して確定すると、メンテナンスモード設定をON/OFFにする次イラストの設定画面に変わります。（次イラストはOFF状態）

```
[0x] メンテナンスモード
　◀▶ キーデ　センタク
　ENTキーデ　ケッテイ
1　OFF　　　2　ON
~
```

（～部分は現在選択している方を点滅しています）

3　▶ボタンでONの位置にカーソル合わせて、ENTERボタンを押して確定すると次イラストのメンテナンスモードの画面に変わります。

```
[0x]●●●●●●●●●
　メンテナンスモード
X　■□□□□□□
Y　□□□□□□□
```

（■部分はON、□部分はOFFを表しています）

上記のメンテナンスモードの画面につきましては「15-4　トラブル発生時は、メンテナンスモードを活用してください」をご覧ください。

れ

冷却温度の設定

1　■ 現在表示されている作業 No. に対して設定を行いたい場合：

>> ▶ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の解説へ進んでください。次イラストのグレー楕円表示文字は選択している作業 No. によって表示されている内容が異なるためここでは表記していません。

（〜部分は点滅しています）

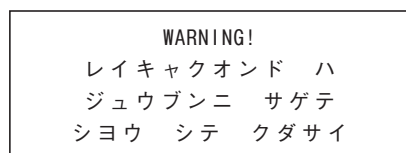
■ 現在表示されている作業 No. 以外の作業 No. に対して設定を行いたい場合：

>>『8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択』をご覧いただき、No. を選択してください。選択ができたら▶ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　HT の文字のすぐ右が点滅しています。この状態で▶ボタンを 2 回押すと、カーソルが移動し CT の文字のすぐ右が点滅します。
冷却温度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 1℃増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：40℃〜加熱温度設定値）

MEMO　設定温度を極端に高く設定すると、美しく丈夫なシールができませんのでフィルムに合った温度設定にしてください。

注 ！　極端に高い設定にしようとすると、下記の警告がディスプレイ画面に 4 秒間表示されます。

WARNING!
レイキャクオンド　ハ
ジュウブンニ　サゲテ
シヨウ　シテ　クダサイ

8-5　各作業手順

4 種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを解説します
コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していただくことができます。

8-5-1 《シール専用》 作業手順

設定画面の表示内容

手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1　漏電ブレーカーを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
2　電源ボタンを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
3　3-a　登録してある場合「シールセンヨウ」の作業 No を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更** シール方式＝「1　シールセンヨウ」を選択
4　加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱温度の設定**
5　加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱時間の設定**
6　冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定**
7　シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。
8　フットスイッチ（1 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

		（「シール専用」作業手順のつづき）
9	フットスイッチ（2 回目）を踏む	2 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 から 5 の工程が自動的に行われます。 1　圧着レバーがシール面に密着（シール開始）。 2　加熱中ランプが点灯。 加熱中 3　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 加熱中　冷却中 4　冷却終了　冷却中ランプ消灯 冷却中 5　シール完了（圧着レバーが上がります）
10	シール完了	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-2 《マニュアル（目安）脱気 + シール》 作業手順

設定画面の表示内容

手　順		各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
2	電源ボタンを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編：>> 起動**
3	3-a 登録してある場合「ダッキシール　マニュアル」の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱気方式の選択** シール方式＝「2 ダッキシール」を選択 脱気方式＝「1　マニュアル」を選択
4	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱温度の設定**
5	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱時間の設定**
6	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定**
7	フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
8	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
9	フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

		(「マニュアル（目安）脱気＋シール」作業手順のつづき)
10	フットスイッチ（3 回目）を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 脱気中
11	適切な脱気状態（目測判断）になればフットスイッチ（4 回目）を踏む	4 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 から 6 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了　脱気中ランプ消灯 脱気中 2　ノズル後退 3　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。 加熱中 4　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 加熱中　冷却中 5　冷却終了　冷却中ランプ消灯 冷却中 6　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12	シール完了	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音別 >> 終了 (作動停止)** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-3 《タイマー脱気 + シール》 作業手順

設定画面の表示内容

手　順		各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
2	電源ボタンを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
3	3-a 登録してある場合「ダッキシール　タイマー」の作業 No を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱気方式の選択** シール方式＝「2 ダッキシール」を選択 脱気方式＝「2　タイマー」を選択
4	脱気タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 脱気タイマー（時間）の設定**
5	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 加熱温度の設定**
6	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定**
7	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定**
8	フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
9	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

	(「タイマー脱気＋シール」作業手順のつづき)
10　フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
11　フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 から 7 の工程が自動的に行われます。 1　脱気開始　脱気中ランプ点灯 脱気中 2　脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 脱気中 3　ノズル後退 4　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。 加熱中 5　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 加熱中　冷却中 6　冷却終了　冷却中ランプ消灯 冷却中 7　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12　シール完了	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音別 >> 終了 (作動停止)** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-4 《真空計脱気 + シール》 作業手順

設定画面の表示内容

手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1　漏電ブレーカーを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
2　電源ボタンを ON	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 本体の起動**
3　3-a　登録してある場合「ダッキシール　シンクウケイ」の作業 No を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 作業 No. の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> シール方式の選択・登録・変更、脱気方式の選択** シール方式＝「2 ダッキシール」を選択 脱気方式＝「3　シンクウケイ」を選択
4　真空度の設定（設定範囲 −10 ～ −100kPa）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 真空度の設定**
5　加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱温度の設定**
6　加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 8-4-2-1 五十音順 >> 加熱時間の設定**
7　冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 設定方法編 >> 五十音順 >> 冷却温度の設定**
8　フットスイッチ（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
9　シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

	（「真空計脱気＋シール」作業手順のつづき）
10　フットスイッチ（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をフットスイッチから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
11　フットスイッチ（3 回目）を踏む	3 回目のフットスイッチを踏む操作をすると 1 から 7 の工程が自動的に行われます。 1　脱気開始　脱気中ランプ点灯 脱気中 2　設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 脱気中 3　ノズル後退 4　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。 加熱中 5　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 加熱中　冷却中 6　冷却終了　冷却中ランプ消灯 冷却中 7　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12　シール完了	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-1 操作方法編 >> 五十音順 >> 終了（作動停止）** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。